

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

愛媛県

学校名

愛媛県立大洲農業高等学校

人権課題

子供

対象学年・  
取り扱った教科等

高校1年生・ホームルーム活動

目標・人権教育のねらい

- ・ いじめは重大な人権問題であることを理解し、自分たちの身近にある問題として捉える。
- ・ いじめが起こってしまった場合に、一人ひとりがどう行動すべきか考える。
- ・ いじめを防ぐためにはどうすればいいか考える。

実施した内容

- ・ 愛媛県教育委員会が制作した「いじめ問題に関する人権ミュージカル」を教材化したものを、1年生の人権・同和教育ホームルーム活動の中で活用した。
- ・ 班でミュージカルの内容や登場人物の気持ちを考えさせ、全体で共有した。
- ・ いじめを防ぐために、クラスだけでなく、自分の所属する集団について具体的で実践的な意見を考えさせた。

工夫した点

- ・ 事前学習において人権ミュージカルを視聴し、意見や感想をワークシートに記入させた。
- ・ タブレット端末（ロイロノート）を活用して、話し合い活動を実施した。

他教科との  
関連

- ・ 国語科、地歴公民科、保健体育科にて、子供の人権について取り上げ、学習を深めた。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

愛媛県

学校名

愛媛県立大洲農業高等学校

人権課題

障害者

対象学年・  
取り扱った教科等

高校1年生・ホームルーム活動

目標・人権教育のねらい

- ・聴覚障害者がどのようなことで困っているのか気付かせるとともに、どのような合理的配慮が必要であるか考える。
- ・共生社会の実現に向けて、自分に何ができるのかを考え、行動する姿勢を身に付ける。

実施した内容

- ・体験的な活動の後、聴覚に障がいのある人の気持ちや日常的な困り感について話し合い、聴覚障害についての理解を深めた。
- ・音声以外に、ジェスチャーや筆談など、コミュニケーションの様々な手法を学び、もし困っている人がいたら自分に何ができるのかを考え、実践意欲を高めた。

工夫した点

- ・言葉を発せずに仲間を見つけるゲームを通して、日常生活で聴覚情報にいかに頼っているかを体感させ、問題意識をもって授業に臨ませた。
- ・動画を用いて、聴覚障害者の日常に触れたり、前向きに生きる姿と出合わせたりしながら、自分事として捉えさせ、共生社会の実現のために具体的にどう行動するかについて考えさせた。

他教科との  
関連

- ・保健体育科にて、高齢者の問題やバリアフリーについて学習を深めた。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

愛媛県

学校名

愛媛県立大洲農業高等学校

人権課題

同和問題

対象学年・  
取り扱った教科等

高校2年生・ホームルーム活動

目標・人権教育のねらい

- ・地元大洲の水平社を中心とする解放運動の展開について理解させ、差別と闘った先人たちの思いに共感する。
- ・地元大洲の差別と闘った先人の生き方に学び、今を生きる自分たちが差別解消に向けてできることを考える。

実施した内容

- ・クラスの人権委員2名と有志3名が、夏季休業中に大洲市人権委員夏季研修会に参加し、大洲の解放運動について理解を深めた。
- ・事前学習として、「解放令」から全国水平社創立までの展開について学び、「解放令」発布後も差別がなくならなかったことを理解できた。
- ・「学ぶ機会を奪われるとどうなるか」というテーマで、ロールプレイを行った。

工夫した点

- ・生徒主体で授業を展開した。研修会で学んだ内容を踏まえ、スライド等も生徒と話し合いながら作成した。
- ・研修会参加者には、授業中もその他の班のフォローに当たらせるなど、活発な話し合い活動を支援できるようにした。

他教科との  
関連

- ・地歴公民科において、当時の時代背景の学習と関連させ、理解を深めた。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

愛媛県

学校名

愛媛県立大洲農業高等学校

人権課題

ハンセン病患者等

対象学年・  
取り扱った教科等

高校1年生・ホームルーム活動

目標・人権教育のねらい

- ・ハンセン病について正しく知り、無知や無関心が重大な人権侵害を生み出すことを認識する。
- ・ハンセン病回復者の方々と関わった方の話を聞くことで、差別を受けてきた人たちの思いを感じさせ、一人ひとりがあらゆる差別解消に向けて主体的に取り組もうとする態度を身に付ける。

実施した内容

- ・ハンセン病という病気と長く苦しんできた歴史について学び、正しい知識を身に付けた。
- ・ハンセン病問題に取り組んだ方の体験談を聞くことによって、現実にあったことだと認識し、強い関心を持った。
- ・現代に生きる私たちが、ハンセン病問題解消について何ができるのか考えた。

工夫した点

- ・会議配信アプリを使用し、ハンセン病問題に取り組んだ方とのオンライン交流を行った。また、事前に交流をしておくことで、オンラインでのやり取りをスムーズに行うことができ、講師と生徒の関係も和やかにすることができた。

他教科との  
関連

- ・保健体育科にて、感染症を取り上げ、ハンセン病についても学習を深めた。

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

愛媛県

学校名

愛媛県立大洲農業高等学校

人権課題

性的指向、性自認

対象学年・  
取り扱った教科等

高校1年生・ホームルーム活動

目標・人権教育のねらい

- ・ 性的マイノリティについて正しく学び、差別を受けてきた人たちの思いを感じるとともに、多様性を認め合い、誰もが自分らしく生きることができる社会を築くためにできることを考える。

実施した内容

- ・ 性的マイノリティについて資料を基に学習し、性への違和感に苦しむ人の思いに触れた。
- ・ 友人から相談を受けた際に、どのように対応していけばよいかグループで話し合った。相手に寄り添い、話をしっかりと聞くことで、不安を取り除くことの大切さに気付かせた。

工夫した点

- ・ 性的マイノリティ当事者が思いを語る動画を視聴することによって、性的マイノリティに関する知識だけでなく、どんな思いをしているのかを理解できるようにした。
- ・ カミングアウトをされた時を想定し、相手に寄り添った対応をするワークを取り入れた。

他教科との  
関連

- ・ 保健体育科にて、性的マイノリティについて取り上げ、学習を深める。